



とちぎの公共交通と 芳賀・宇都宮 LRT



UTSUNOMIYA
LRTからはじめる、次の暮らし



VERY 
GOOD
LOCAL
とちぎ

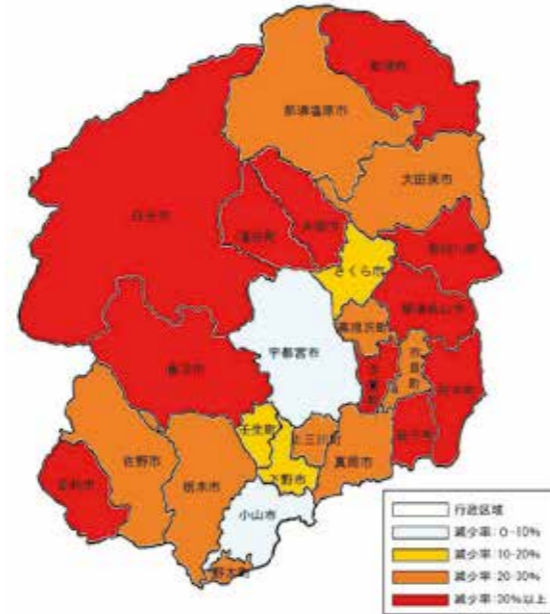
1 本県の公共交通の現状と課題

(1)人口減少・超高齢社会

本県の人口は、H57(2045)年にはH27(2015)年より21%減少し、かつ、全ての市町において減少することが見込まれています。

急激な人口減少は、都市や集落の持つ機能の維持に大きな影響を与え、地域住民の日常生活や社会生活に支障を及ぼすことも懸念されます。

県内市町における人口減少率(H27→H57)の推計



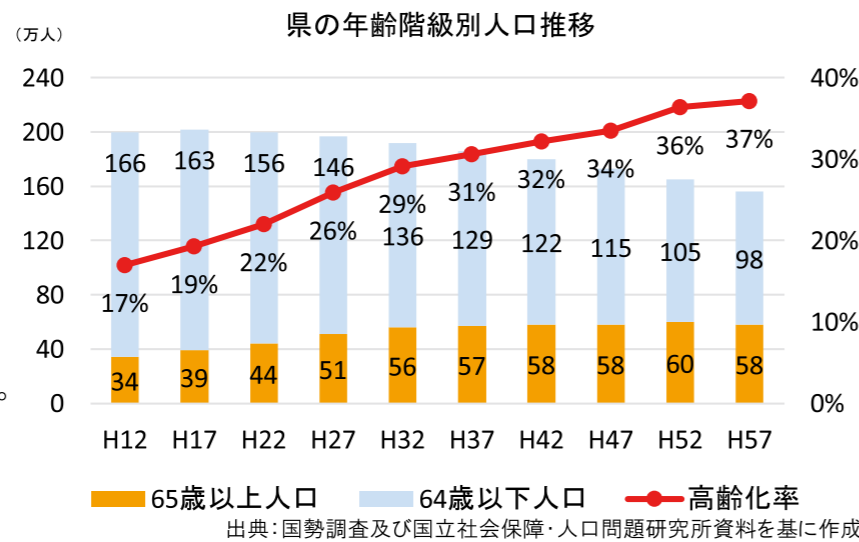
出典:国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所資料を基に作成

一方で、65歳以上の高齢者の割合(高齢化率)は増加しており、H57(2045)年には10人に4人が高齢者になると推計されています。

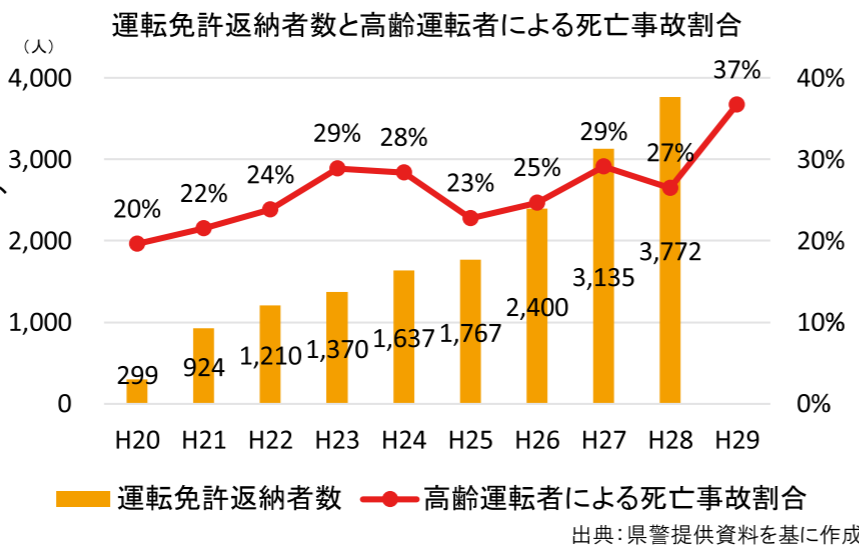
また、高齢運転者による交通事故の割合は増加傾向にあり、H29(2017)年には37%と、H20(2008)年に比べて倍増しています。

こうしたことを背景として、高齢者の運転免許返納者が年々増加している状況にあります。

今後、人口減少や高齢化の更なる進展が見込まれる中においては、自家用車を運転できない高齢者等を含む地域住民の日常生活や社会生活を支え、地域社会の活力を維持していくためには、安全な移動手段を確保する必要があります。



出典:国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所資料を基に作成



出典:県警提供資料を基に作成

(2)本県の公共交通の現状

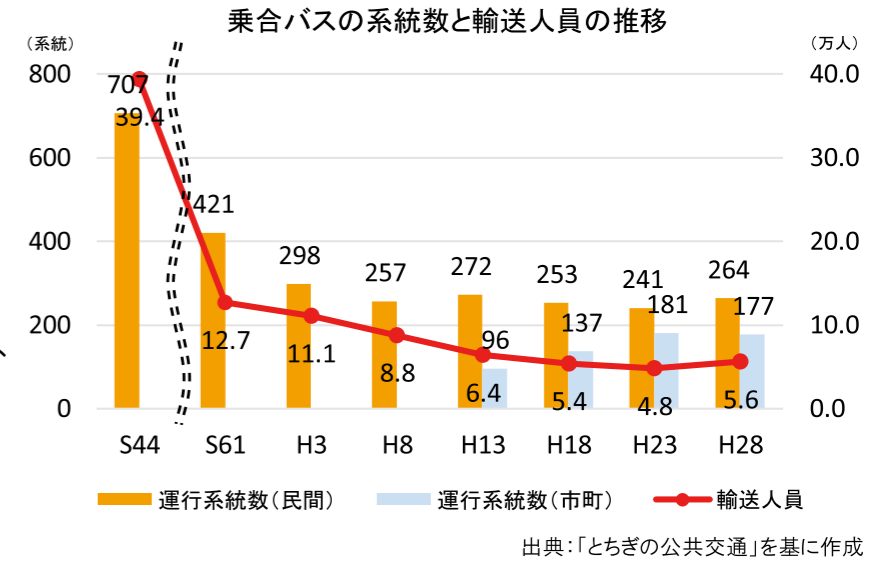
本県は、人口1,000人当たりの自動車保有台数が全国第5位(H28(2016)年)であるなど、全国有数の「クルマ社会」です。

モータリゼーションの進展等により、バス利用者がピーク時に比べて大きく減少したことに伴い、バス路線の多くが廃止され、運行系統数が減少しています。

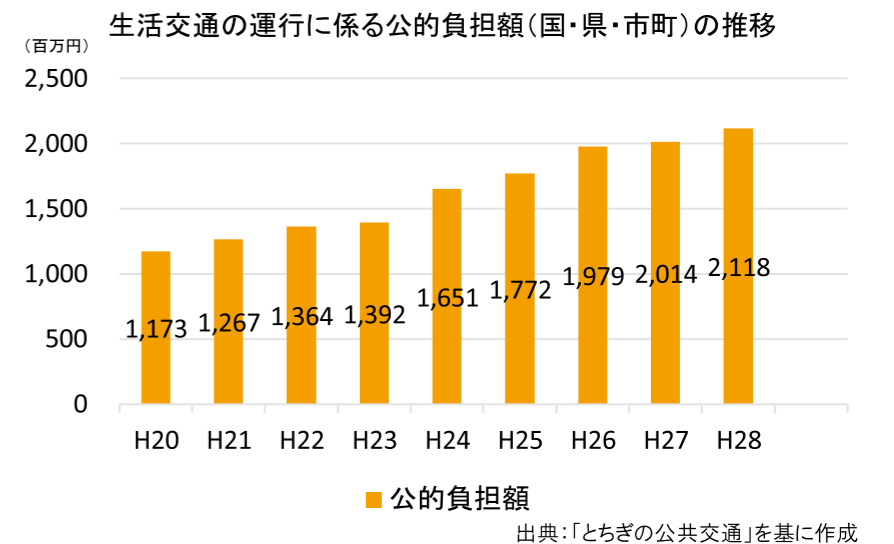
こうした中、民間路線バス・市町村バス・デマンド交通を維持・確保するための公費負担額は年々増加しており、H28(2016)年度は21億円を超えています。

公共交通利用者の減少による交通事業者の収益の悪化は、路線の廃止やサービス低下を招き、更に利用者の減少を生む悪循環となつてしまっています。

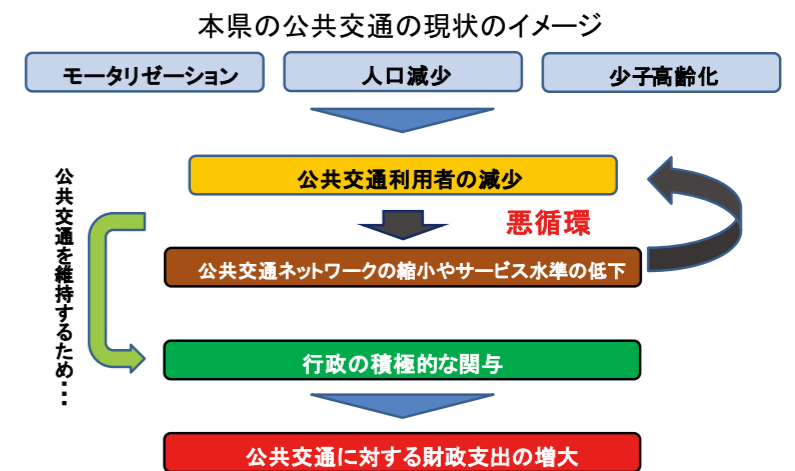
地域住民の日常生活や社会生活における移動手段として維持させるには、行政が積極的に関与する必要がありますのが現状です。



出典:「とちぎの公共交通」を基に作成



出典:「とちぎの公共交通」を基に作成

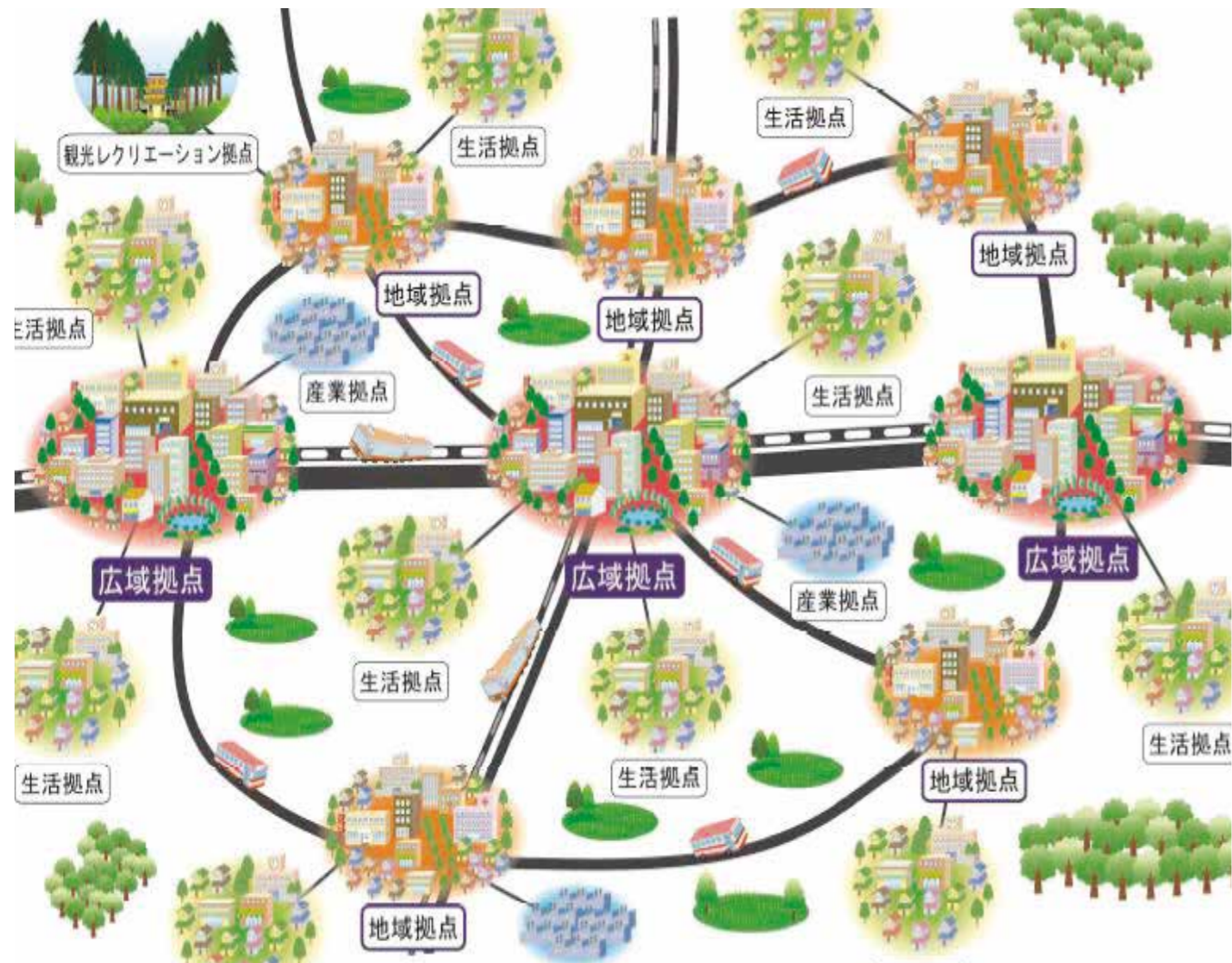


○誰もが安全・安心で快適に暮らすことができるよう、皆さんの日常生活を支える公共交通を維持・充実させていくことが重要なんだね。
○また、公共交通が効率的なものとなるよう改善するとともに、皆さんに公共交通を更に利用してもらえるような取組を進めていくことが必要だね。

2 県が目指す交通ネットワークと主な取組

公共交通の充実に当たり、地域の特性や交通需要に応じて、鉄道、バス、LRT等の多様な交通手段を組み合わせ、効率的・効果的なネットワークを形成していくことが重要です。そのため、県では、交通事業者や市町に対する様々な支援を通じて、公共交通ネットワークの形成に向けた取組を行っています。

県が目指す公共交通ネットワークのイメージ



出典:「とちぎの道路・交通ビジョン～県土60分構想2016～」

【県の取組①】 地域コミュニティ内を結ぶ公共交通の支援

地域内の移動を支えるため、市町営バスやデマンド型交通の運行やユニバーサルデザイン(UD)タクシーの導入に対する支援を行っています。

市町営バスの運行支援



地域住民の日常生活における移動手段の維持確保を図るため、市町営バスを運行する市町に対し支援を行っています。

デマンド型交通の運行支援



路線バスが走っていない地域において必要な移動手段の確保を図るため、デマンド型交通の運行支援を行っています。

UDタクシーの導入支援



高齢者や妊産婦、子供連れ、車いすの方等の乗降に配慮がされたUDタクシーの導入支援を行っています。

【県の取組②】 県内各拠点を結ぶ公共交通への支援

拠点間の移動を支える鉄道やバス路線の維持、公共交通のバリアフリー化や利便性向上等の支援を行っています。

第三セクターの支援



第三セクター鉄道に対し、レールやトンネル等の設備整備や経営の安定化のための支援を行っています。

鉄道駅のバリアフリー化の支援



高齢者や障害者等の方が鉄道を利用しやすいよう、鉄道駅のバリアフリー化の支援を行っています。

路線バス事業者の支援



広域的・幹線的路線や日常生活上必要な路線の維持・充実を図るため、路線バス事業者に対し支援を行っています。

路線バスの利用環境整備の支援



バス停への上屋やベンチの設置のほか、ノンステップバスの導入など、路線バスの利用環境整備の支援を行っています。

LRTの導入支援



県央地域の東西方向の基幹公共交通軸となることが期待される「芳賀・宇都宮LRT」の整備の支援を行っています。



- 電車やバス、デマンド交通など、多様な交通手段が組み合わさって、地域公共交通ネットワークができあがるんだね。
- 県では、地域公共交通の維持・充実や利便性の向上を図るため、様々な支援を行っているんだね。

3 「芳賀・宇都宮LRT」の概要

(1)「芳賀・宇都宮LRT」の整備計画について

宇都宮市と芳賀町では、H34(2022)年3月の開業を目標に、「芳賀・宇都宮LRT」の整備を進めています。

「芳賀・宇都宮LRT」の整備計画(抜粋)	
営業キロ	約15キロメートル(複線)
停留場数	19か所 (100%バリアフリー)
トランジットセンター 想定箇所	5か所
運行間隔	ピーク時 6分間隔 (10本・1時間当たり)
	オフピーク時 10分間隔 (6本・1時間当たり)
所要時間	始点から終点まで約44分 (快速の場合約37~38分)
運賃	初乗り150円~400円 (対距離制)
車両定員	155人 (最大輸送力232人)

出典:宇都宮市「MOVE NEXT UTSUNOMIYA」



出典:宇都宮市「MOVE NEXT UTSUNOMIYA」

LRTとは、Light Rail Transitの略で、従来の路面電車と異なった高いデザイン性を備え、騒音や振動が少なく、乗り心地等の快適性に優れた低床式の車両を活用し、軌道・停留場の改良により乗降がしやすく、時間どおりに、速やかに運行する優れた特徴を有する次世代型の路面電車システムのことです。



導入車両イメージ
(福井鉄道 FUKURUM)

(2)「芳賀・宇都宮LRT」の整備に関連する事業について

宇都宮市と芳賀町では、「芳賀・宇都宮LRT」と他の公共交通との乗継ぎの利便性向上を図るため、以下の関連する事業に取り組むことを計画しています。

① 交通結節機能の強化 (トランジットセンターの整備)

バス、自動車、自転車等の交通手段からLRTへスムーズに乗換えができるよう、主要な5か所の停留所には、乗換施設として、トランジットセンターの整備が計画されています。

トランジットセンターの整備イメージ



出典:第15回「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会」資料

富山ライトレールのトランジットセンター整備事例



雨の日でも濡れずに乗換えができます。

② バス ネットワークの再編等

「芳賀・宇都宮LRT」の整備に合わせて、幹線・支線からなる効率的なバスネットワークの再編、公共交通の空白地域における新たな地域内交通の導入等が計画されています。

JR宇都宮駅東側バスネットワーク再編のイメージ



出典:芳賀・宇都宮東部地域公共交通網形成計画

③ 交通ICカードの導入

利用者の利便性向上や停留所での乗降時間短縮を図るため、LRTやバスで共通利用が可能な交通ICカードを導入するとともに、乗継割引やバスの中乗り前降りシステムへの改善等について検討が進められる予定です。

LRTと公共交通機関のICカード連携イメージ



出典:宇都宮市「MOVE NEXT UTSUNOMIYA」

4 県は「芳賀・宇都宮LRT」を支援します!!

(1) 県が公共交通を支援する意義

①人口減少や超高齢社会の急速な進展

↓
交通事業者の自助努力だけでは公共交通の維持は困難。しかし…

②公共交通は自家用車を運転できない人にとって日常生活上不可欠

↓
加えて、余暇等の移動需要を満たすことで、県民生活の質を高め、県内の活性化につながる。

③県は、交通事業者、国、市町等と連携して公共交通の維持・充実に向けた取組を支援

↓
より効果的・効率的な交通ネットワークへの改善や充実を促進

(2) 「芳賀・宇都宮LRT」を支援する意義

「芳賀・宇都宮LRT」は、県央地域における東西公共交通の新たな基軸として効率的で利便性の高い広域的な公共交通ネットワークの構築に重要な役割を果たすとともに、沿線地域のみならず、県内全域への幅広い波及効果をもたらし、「選ばれどちぎ」の実現に大きな力を発揮することから、県では、宇都宮市と芳賀町に対し、財政的・技術的な支援を行っていきます。

LRTに関する情報を市町のホームページでも公開しています。

宇都宮市 LRT紹介ホームページ「u-movenext.net」

<https://u-movenext.net/>

芳賀町 LRT紹介ホームページ

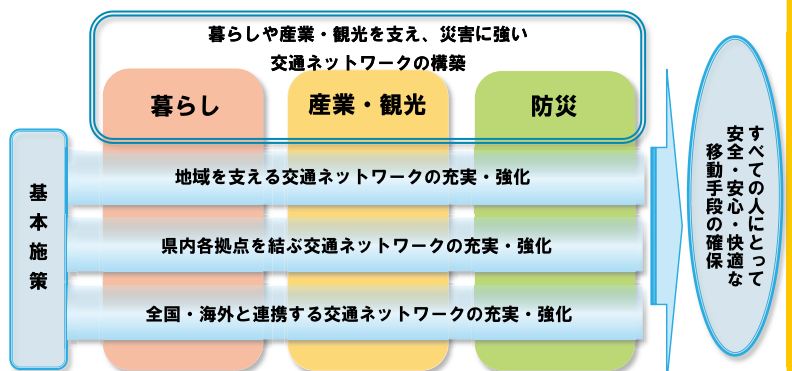
<https://www.town.haga.tochigi.jp/menu/kurashi/sekatsu/kokyokotsu/lrt.html>



とちぎの道路・交通ビジョン ～県土60分構想2016～

県は、『暮らしや産業・観光を支え、災害に強い交通ネットワークを構築』し、「すべての人にとって安全・安心・快適な移動手段の確保」を目指します。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/h03/documents/vision2016.pdf>



- 将来にわたって持続可能な利便性の高い公共交通ネットワークをつくるためには、オールとちぎで公共交通を創り守り育てていくことが重要だよ。
- そのためには、交通事業者、国、県、市町等の関係者が連携して取組を進めるだけでなく、皆さん一人ひとりが自家用車に依存したライフスタイルを見直すことも必要だね。

栃木県県土整備部交通政策課

〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田1-1-20

TEL 028-623-2522 FAX 028-623-2399

URL <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h03/town/koukyoukoutsuu/koukyoukoutsuu/lrt.html>

